

(6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

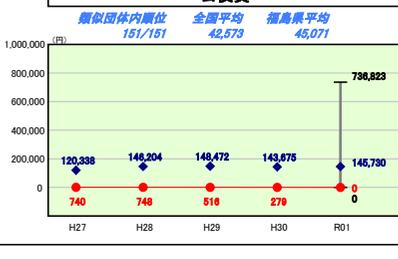
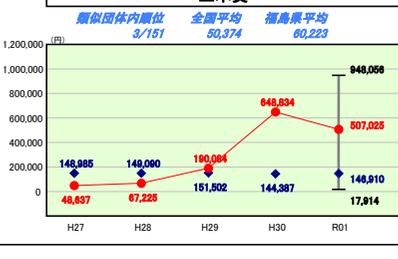
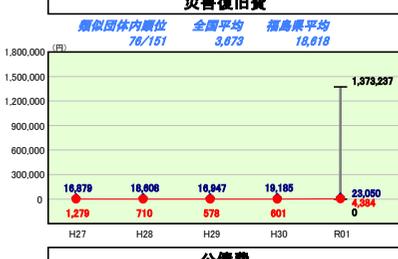
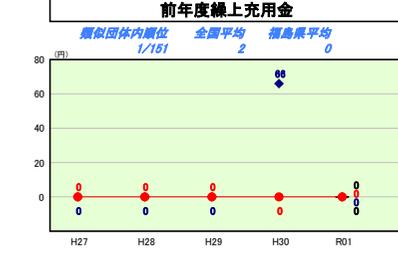
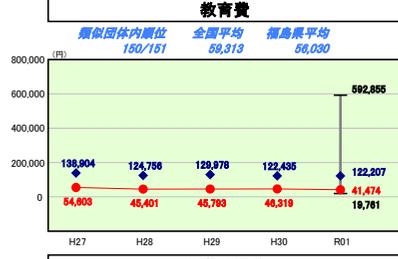
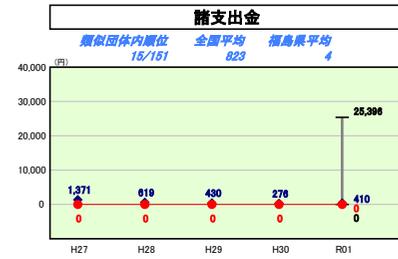
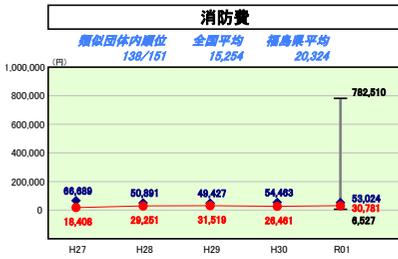
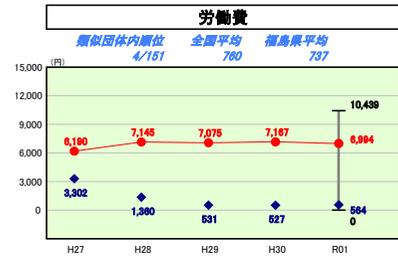
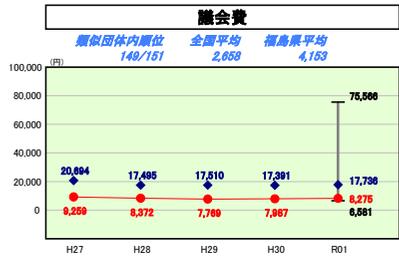
令和元年度

福島県大熊町

人口	10,313人(R2.1.1現在)	実収赤字比率	-%
うち日本人	10,271人(R2.1.1現在)	通算実収赤字比率	-%
面積	78.71km ²	実収公債費比率	-2.4%
歳入総額	28,232,509千円	得未負担比率	%
歳出総額	26,976,478千円	市町村類型	H27 I-2 H28 I-0 H29 I-0
実収取支	339,943千円	(年度毎)	H30 I-0 R01 I-0
標準財政規模	5,219,886千円		
地方債現在高	0千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析

民生費は、住民一人当たり994,221円となっており、類似団体に1位となっている。これは避難住民に対して生活再建促進交付金(7,172,200千円)を交付したことによる。また、総務費、土木費もそれぞれ住民一人当たり882,518円、507,025円となっており、類似団体平均を大きく上回っている。これは、復興拠点整備事業に関して総務費では財源として佛道環境整備交付金基金積立を行ったこと、土木費では復興拠点整備事業があったことによる。